

八学野西トピックス

令和7年7月11日 Vol. 58

発行 八戸学院野辺地西高等学校総務企画部

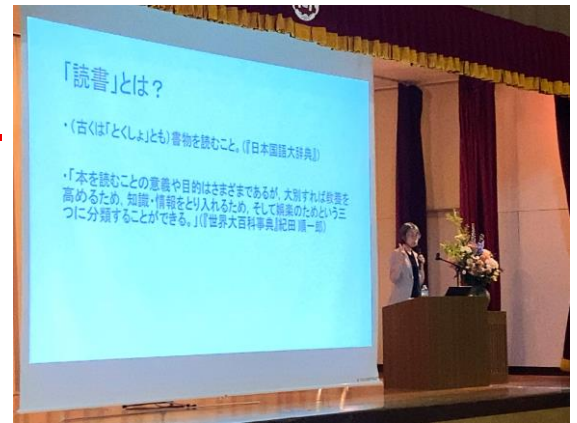
TEL 0175-64-4166

高校生のための文化講演会

一講師は直木賞作家・澤田瞳子氏一

6月12日（木）に直木賞作家の澤田瞳子氏を講師としてお招きし、「高校生のための文化講演会」を開催しました。この講演会は公益財団法人である一ツ橋文芸教育振興会が主催し、集英社や東奥日報社が後援しており、今年度で60回目を迎えました。

澤田先生は「読書とは何か」というテーマで講演されました。講演を聞き、読書に対する考え方が大きく変わり、感銘を受けた生徒が多数いました。



読書をテーマに講演される澤田瞳子先生

今回の講演会では、読書をすることで自分では考えられない世界を知ることができ、自分自身の考えの幅を広げることができるということがわかりました。また、フィクションとノンフィクションの違いについても改めて考える機会となりました。フィクションは虚構かもしれませんが、その虚構も100%の嘘はつげず、嘘の中にも作者自身の考えが広がっているということがわかりました。私も自分の考えの幅を広げるため、インターネットだけではなく、読書をするのを積極的に意識していきたいです。

3年1組 高橋 陽彩（東北町立東北中学校出身）

第78回青森県高等学校総合体育大会

サッカー部 悲願の初優勝！空手道部 10回目の優勝！

今年度の高校総体では、サッカー部と空手道部が優勝し、インターハイ出場を決めました。

サッカー部は決勝戦で大会24連覇中の強豪校を相手に延長戦まで戦い抜き、最後はPK戦で6-5と悲願の優勝を手にしました。

空手道部は、女子団体組手で県春季大会に続き2大会連続の優勝を決めました（10大会ぶり10回目）。個人戦においても、女子組手優勝・2位、男子個人形2位などの成績を収めました。

サッカー部は7月26日から福島県で開催のインターハイへ、空手道部は8月7日から岡山県で開催されるインターハイへそれぞれ出場します。引き続き、たくさんのご声援をよろしくお願いいたします。



悲願の優勝を遂げ、喜びに沸く選手たち

懸垂幕を作成いただきました
(野辺地町役場)



環境美化活動～野辺地町ロータリークラブ～



6月3日（火）に「花で笑顔の輪を広げよう！プロジェクト」の一環として、野辺地町ロータリークラブよりマリーゴールドなどの花の苗120株をいただき、6名のロータリークラブメンバーの方々と本校1年生が合同で植栽作業を行いました。色鮮やかな花が植えられたプランターは、校舎へと続く沿道や、生徒玄関前に飾りました。

1年生の生徒からは、「来校された方に色とりどりの花を見ていただき、癒されてほしいです」といった声が出ていました。野辺地町ロータリークラブの皆様、ありがとうございました。



植栽を指導してくださったクラブの皆さん



上級救命講習会～命の大切さを学び、いざという時に備える～



6月18日と25日・26日の3日間に分けて、上級救命講習会を開催しました。生徒たちは講義と実技を受講し、心肺蘇生法や人工呼吸法、止血法、AEDの使用方法などを習得しました。講習会を通して、いざという時にどのように行動するべきかを身に付けることができました。講師として来校いただきました野辺地消防署の皆様、本当にありがとうございました。

教育実習～母校で再び学ぶ～

木村大輝さん（八戸学院大学）、芋田海吏さん（仙台大学）の2名が、5月9日から3週間の教育実習に臨みました。母校で実習生として積極的に学ぶ姿が印象的で、充実した教育実習となりました。

「教育実習を終えて」 木村 大輝（八戸学院大学4年）

教育実習を通して毎日変化する生徒の状況や心情に気を配りながら、コミュニケーションを取ったり、関わったりすることの難しさを実感することができました。また、授業や部活動での楽しそうな生徒の表情を見て、やりがいや楽しさを経験することができました。3週間という短い期間でしたが、いろいろな経験を通して成長することができたと思います。実習生として受け入れてくださり、忙しい中で指導をしてくださった先生方にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。

